

3月議会
開会中

小牧一美議員 11日代表質問 14日に個人質問

3日開会した予算議会は、冒頭の宮本和宏新市長の施政方針を受け、11日に各党派による代表質問、14日には個人質問が行われます。日本共産党の小牧議員の代表質問は5番目（11日午後）。個人質問には13人の議員がたち、小牧議員は12番目です。ぜひ傍聴にお越し下さい。

宮本和宏新市長

「平和市長会義」参加を表明

宮本市長は3日の市議会本会議で初の施政方針にたち、「守山市遺族会会長から要請を受けた」として、懸案になっていた「平和市長会義」に参加することを表明しました。平和市長会義は、ヒロシマ・ナガサキの惨過を繰り返してはならない、と呼びかけられたもので、滋賀県内でも参加をしていないのは、守山と栗東の両市長だけでした。日本共産党をはじめ平和を願う団体が前市長に繰り返し参加を要請していましたが、固辞してきたもので、新市長が参加を表明したことは平和を願う市民に大きな激励となるものです。

平和記念式典に子どもたちの代表を 中学校給食の実現を 住宅リフォーム助成制度の復活を

小牧議員が代表質問

日本共産党の小牧一美議員は11日の代表質問で、国の政治と地方政治のあり方、市長の施政方針に関連して、新年度予算について、の3項目について新市長の政治姿勢や今後の市政のあり方を質問します。

このなかで、施政方針で「平和市長会義」への参加を表明したことを評価しながら、あわせて平和展や子どもたちを広島での平和記念式典に派遣して平和学習を深めるなど平和施策の充実を求めます。

また新市長が施政方針の中で述べた3つの重点施策に関連して、市民から要望の多い、中学校給食の実現や、地域経済を支える中小零細業者の活性化策として「住宅リフォーム助成制度」の復活、待機児童対策として公立保育園の増設を求めます。

政治姿勢の問題では、大企業誘致のために5年間で約8億円もの税金を投入してきたこれまでの大企業優遇市政

をあらためること、国の特別法が失効しているのに、いまだに人件費を含め年間約1億円も税金を投入して特別施策を講じている同和行政を終結させること、「住みやすさ日本一」を標榜するのなら、市民のいのちと健康・福祉を守り、安全・安心のまちづくりを推進するという地方自治体本来の仕事をやらぬ姿勢が大事であることなどを強調します。

さらに、新市長が述べた「市民病院の公営企業化にむけた検討」にたいする市民や病院職員への影響についても質すなかで、市民サービスを後退させない市民病院のあり方を質問します。

また、民主党政権のもとで、強まる「地域主権改革」や「新しい公共」に対する市長の認識なども質す中で、混乱する国政にあつて、市民のくらしを守る地方自治体の責務について、市長の見解を尋ねます。

14日に予定されている一般質問で、小牧議員が取上げる主な項目は、次の通りです。

- 公の施設の指定管理者制度について⇒総務省の通知をどう受けとめるのか。
- 滞納問題解決と徴税のあり方について⇒ゆきすぎた収納対策は、改善すべき
- 市民の教養・生涯学習の充実について⇒下之郷史跡公園と市民体育館弓道場、エルセンターの活用推進と施設設備を充実すべき。伝統文化教室を継続実施すべき。
- 子どもたちの通学路の安全確保について⇒守山吉身小学校・吉身3丁目付近

個人質問 質問項目

日本共産党
守山民報

守山市議会議員
こまき一美

TEL・FAX 582-3785
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者
まつば栄太郎

TEL 584-3077
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行 518号

2011・3・9

TEL 583-8552

FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45～6:45 守山駅で街頭宣伝しています。